

①第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

②事業者情報

名称：	キロロハイツ	種別：	精神障害者グループホーム事業
代表者氏名：	白岩 智弘	定員(利用人数)：	18 名
所在地：	〒 357-0063 埼玉県飯能市飯能7 1 7 番地	TEL	042-980-5120

③評価実施期間

令和 5年 6月 1日 (契約日) ~ 令和 6年 1月 23日 (評価結果確定日)

④総評

◇特に評価の高い点

その人らしく1日を過ごせるように支援している

1日の中で決められた日中活動への参加プログラムを除いては、時間的な制約を設けておらず、自由に過ごしてもらえるようにしたり、自宅での生活の延長になるように配慮している。事業所の見学を行った際にも、自宅で行っていた趣味活動を継続して楽しんでいる様子がかげえた。また、利用期間中に新たな要望などを受け付けた際には、家族や成年後見人等の確認を取り、同意を得た上で迅速に対処している。苦情や要望、ヒヤリハットや事故などについては、報告書を定め迅速に対処することに取り組んでいる。

障害の特性をとらえ、利用者主体の支援を強化している

多様化する利用者のニーズを生活全体からとらえ、利用者の一人ひとりの意向・希望を実現することが事業所としての役割を果たすことと捉えている。そのためにも一人ひとりの障害の特性をとらえたコミュニケーションの工夫や、利用者の理解が求められている。職員の資質・能力向上によりサービス支援の質を向上させることはもちろんのこと、専門職との連携強化に努め組織一体として利用者主体の支援ができる体制づくりに取り組んでいる。

利用者の意向を把握するため、定期的な個別面談を実施している

利用者職員で週1回の個別面談を実施しており、その際には支援に対する利用者の意向などの把握ができるように努めている。また、個別面談時には支援に関するだけでなく、利用者同士の人間関係に関することやホーム内での生活に関するルールに対しての意見なども聞き取るようにしている。それらの内容は、職員会議などで検討を行い、ホームでの生活に反映できるようにしている。

◇特にコメントを要する点

地域の関係機関との連携をさらに深めることを目指している

ホームでは法人内外の相談支援事業所と日頃から連携を図っており、利用者の支援計画書の作成や新規の利用者の紹介などを受けている。各事業所とは連携も取りやすく、連携を図りながら解決を必要とする課題の共有や解決に向けて適宜連携できる体制も整いつつある。ただし、各事業所ともに背景や経験などが異なるため、相談事業や他事業所等との連携や役割分担をさらに明確にすることを目指している。利用者本人に加え、家族の課題についても支援できるような情報共有や連携を図ることを目指している。

安全で安心できるホーム運営を目指している

ヒヤリハットや事故などの検証を行い再発防止に取り組んでいる。さらに、新型コロナ対策の一環として感染症対策には特に力を入れており、関係機関などから寄せられた最新情報をもとに業務の標準化に取り組んだり、定例会議において学ぶことにも取り組んでいる。ホームでは年2回の防災訓練を実施しており、1回は消防署と協同し、1回はホーム独自で実施している。実施後には、報告書を作成して振り返りの参考にして、職員への注意喚起を促している。また、事業継続計画（BCP）の完成や、ホーム内にハザードマップを掲示するなど、災害時の対応や対策をさらに充実させることが望まれる。

個別支援計画の理解を深めることを課題としている

週1回の利用者との個別面談やサービス提供記録への記載、モニタリングなどで個別支援計画に沿った支援がなされているかの確認を行っている。しかしながら、職員の経験年数が1、2年と少ないこともあり、アセスメントから個別支援計画、モニタリング、再アセスメントという流れでのPDCAサイクルに沿った個別支援計画の作成という理解を深めることを今後の課題としている。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回2回目の第三者評価を受審して、3年の月日がたったことを実感させられ、その間に職員が一人を除いて全員入れ替わったことなど考え深いこともありました。
そして、前回に行っていた事が出来なくなっていることに気が付かされたり、職員が入れ替わったことで新たに加わった業務があること、マニュアルの見直しができたことなど日々の業務の中でも気が付かなかったことに気づかされたことは大変よかったですと感じております。今後は、次回に向けさらなる発展、発見があることを期待しております。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり